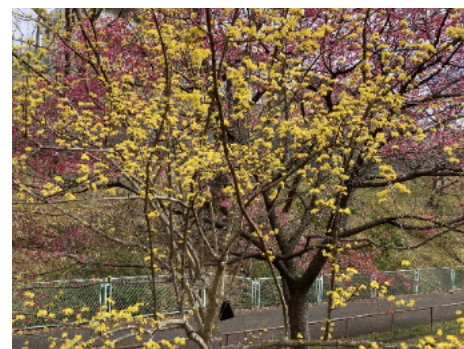


# サンシュユ



春の姿、春黄金花

## 1, どんな花？

サンシュユは、春になると小さな黄色い花が30個ほど集まり球のようになってさきます。この姿は、春黄金花（はるこがねばな）と呼ばれます。

## 2, 特徴（とくちょう）

一つ目は、サンシュユの幹に触ると、樹皮（木の皮）がポロポロとれます。樹皮がポロポロになっているのがサンシュユの見た目の大きな特徴です。

二つ目は、秋になると木に実がつき、赤いサンゴのようになってきれいな色になります。まるで、秋の紅葉みたいです。こっちの姿は、秋珊瑚（あきさんご）と呼ばれます。

## 3, 実

サンシュユの実は、美味しそうに見えますが生で食べると渋くて酸っぱい味がします。北八朔公園のサンシュユの実を食べないでください。

## 4, 豆知識

花言葉は、「耐久」「持続」「気丈な愛」「敬慕（けいぼ）」「成熟した精神」です。これは、冬の終わりに花を咲かせ、春がきたことを教えてくれるからです。黄色い花が明るくて可愛いですね。